

建交労大阪府本部 機関紙



建交労大阪府本部第22回定期大会

新型コロナ禍で三密を避けての開催

建交労・大阪府本部第22回定期大会は、9月6日(日)午前10時～15時20分まで国労大阪会館

大会議室において行いましたが、コロナ禍で開催

したこともあり時間短縮で来賓及び傍聴者はすべてご遠慮いただいた中で開催しました。大会あいさつには、前村委員長が挨拶し「コロナ禍で日本経済も落ち込み、解雇・雇止めが増えている。こうした状況で労働の積極的な伝統を引き継ぎ、前進をめざして1,000人



建交労大阪府本部を現実させようと決意を固めました。そして、この1年組織の強化拡大の取り組みを実践し皆さんと共に

たたかってきました。その最中、春闘をたたかう時期になって予想も出来なかったコロナパンデミックという事態の中、宣伝行動や諸会議が開けず、3月8日に予定していたトラックパレードも中止せざるを得ないことになりました。さらに、大阪メーデーも大幅に縮小しての取り組みになった。そして、現在もその状況が続いている。

また、秋季年末闘争・来春の春闘の賃上げ交渉もコロナ禍による経済状況の困難さを理由にした賃金・労働条件や雇用が脅かす事態が想定されますが、これを跳ね返すたかいを展開し、力を合わせていこう」と呼びかけました。

大会の討論では、関西合同支部大陽液送・大田班の長谷川代議員から運

行前の点呼、アルコールチェックなど大陽液送でおこなっているにもかかわらず、下請け会社として働き、大陽液送の社員と大幅に賃金格差があるという報告と偽装請負裁判の傍聴支援の訴え。大阪合同支部・森代議員からは南海ウイングバス南の正規社員には一時金が支給されるが、非正規社員には同じ仕事をして一時金が一切支給されない。交渉では困難なため、裁判提訴になったことの報告と傍聴支援の訴え。関西支部・本多代議員からは、生コンで働く労働者・日々雇用労働者の月額1万8千円への底上げを実現した。滋賀県の生コン製造会社との労働協約の契約を結ぶことが実現した。組織拡大宣伝はコロナ禍では中々宣伝ビラを受け取らないので、集合住宅へのテッ

近畿ろうきんであなたの年金育てませんか!?

個人型確定拠出年金 (iDeCo)

iDeCo

お申し込み受付中!

- 1 毎月の掛金は全額所得控除
- 2 年金資産の運用益が非課税
- 3 受け取る際の税金が優遇される

例えば、
年収500万円の方が、
iDeCoで積立(月額掛金12,000円)を始めると、
年間 **約28,800円** の節税効果!!



年収: 500万円
月額掛金: 12,000円
積立期間: 20年

60歳まで...
約 576,000 円

の原則拠出金に引きま

ユ付きびらをポステイングしているなどの報告がありました。

大会1号議案（4号議案・役員選挙を除く）7号議案まですべての議

案採決と大会スローガン、大会宣言案、特別決議案が拍手で可決されました。2021年度の新役員は、左表のとおりで決定しました。

<議案採決>

	反対	保留	賛成
※第1号議案：2021年度運動方針・付属議案	0	0	36
※第3号議案：財政方針・予算案	0	0	36
※第7号議案：ストライキ権確立	2	0	34
※第2号議案：会計及び監査報告			拍手で可決
※第5号議案：府本部委員会委員選出基準			拍手で可決
※第6号議案：中央委員・上部団体への役員派遣・選挙管理委員選出の確認等の承認			拍手で可決

役職	氏名	所属支部	再選
執行委員長	前村 和弘	関西ダンブ支部	再選
副執行委員長	阪口 昇治	大阪合同支部	再選
副執行委員長	鷹巣 準	関西合同支部	再選
書記長	荻田 智	大阪合同支部	再選
執行委員長	植西 茂浩	関西合同支部	再選
執行委員長	北山 浩	此花支部	再選
執行委員長	小城 仁志	神田支部（大阪分会）	再選
執行委員長	佐藤 克利	大阪鉄道本部	再選
執行委員長	高橋 拓	関西支部	再選
執行委員長	藤川 卓也	関西支部	再選
会計監査	澤 孝二	関西合同支部	再選
会計監査	菅原 孝二	此花支部	再選
特別執行委員	石村 和明	関西支部	再選
特別執行委員	中平 知世	大阪合同支部	再選
書記	宇高 知世		再選

建交労第22回定期大会 コロナ禍の中、群馬県いそがでで開催

建交労中央本部第22回定期大会は、8月29日・30日の両日、群馬県の磯部ガーデンで開催し、開会あいさつは石田副委員

に広がり、また、日本でも「コロナ禍」と呼ばれる状況、そして、昨日に安倍首相の突然の辞任表明という時代の大きな節目の中で開催される」と述べ。「これまで続けられてきた新自由主義政策では国民の命と暮らしも守れないことがコロナ禍で明らかになったと指摘。建交労には国民生活を支えるエッセンシャルワーカーが結集



しており、コロナ禍で、その社会的価値が見直されたが、労働条件は決して恵まれていないことを挙げ、安心して働ける労働条件を世論にも訴えて獲得しよう」と呼びかけました。

廣瀬書記長の運動方針では、「10万人アンケートによる職場要求のくみ上げと要求闘争、各支部の運動強化と連携、トンネルじん肺・新救済法案（基金）の創設に向けた全国的運動とトンネルじん肺第6陣訴訟の早期解決、改憲を許さないたたかいの継続、労働法制改悪阻止、医療・介護などの社会保障の拡充、原発ゼロ、消費税減税」を求めたたたかいを提起しました。

討論では、関西合同支部大陽液送分会・大田班の偽装請負のたたかい、関西支部からは、日々雇

用労働者や生コン職場のたたかいが発言されました。また、全国トラック部会は「改正貨物自動車運送事業法を生かした値上げ、学童保育部会のコロナ対策補助金確保と労働条件改善の運動、生コン部会の集合交渉で賃金労働条件に向けたとりくみ、トンネルじん肺新救済法創設に向けた運動などを交流。

組織拡大は、最優秀賞に神奈川県本部・神奈川ダンブ支部・群馬ダンブ支部が純増で15%以上、準優秀賞は岐阜県本部・釧路支部・十勝建設、純増で5%以上達成、努力賞に神田支部・九州支部が年間50人以上拡大しました。新執行部に大阪から藤川執行委員、荻田執行委員が信任されました。全体の参加者は、192名でした。